

「河川環境・防災教育」を教科学習に導入できるよう、釧路管内の小・中学校の先生を対象に「川の防災教育を授業で実施するためには？」を考える意見交換を実施しました。

新しい学習指導要領に基づく授業の全面実施に向けて、先生方は「何をどこから教えたら良いのか？」等不安になっています。

今回、釧路管内の教育活動をサポートする釧路教育研究所と連携し、管内の小・中学校教諭を対象に川の防災教育の推進に向けた意見交換を実施しました。

- ・実施日 平成29年8月16日（水）
- ・参加者 釧路管内の小学校教諭 12名
" 中学校教諭 8名
- ・会場 標茶小学校 視聴覚室



【意見交換のテーマ】

川の防災教育を授業で実施するためには

【意見交換の内容】

- ・新学習指導要領と河川に係る防災教育の関係
- ・授業を行う際に必要となる資料
- ・釧路川版の指導計画や学習素材に向けて 等



自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であり、災害対応の実務を担う釧路開発建設部では、学校教育における川の防災教育の支援を積極的に行っています。